

## 「鳥瞰図」の活動を見学しました



12月12日（木）、「鳥瞰図」の取り組みを見学するため、同団体メンバーが所属する広島市立大学に行ってきました。

「鳥瞰図」では、「ドローンという鳥の目から、地域の魅力を再発見」という考えのもと、ドローンを活用し、過疎化・高齢化が進む瀬戸内の島（倉橋島、周防大島など）で、地元の人あまり気づいていない町の魅力を再発見・発信するプロジェクトを展開しております。

なお、取り組み内容の柱は以下2点です。

- ① 歴史的な事柄や島内の魅力情報の探索と映像作品作り
- ② 地域と連携したドローン体験会と清掃活動

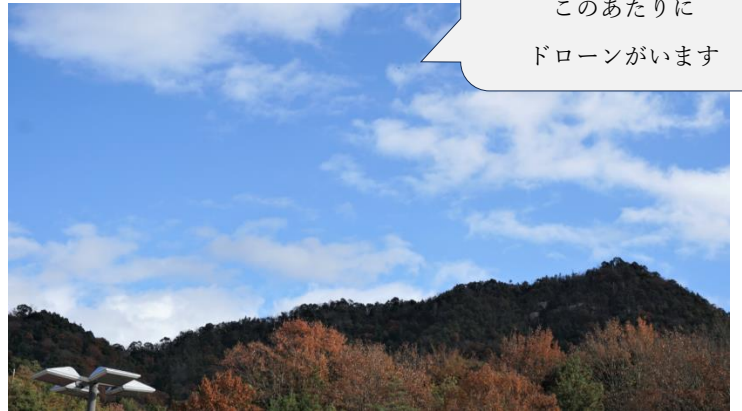


鳥瞰図メンバーの皆さんです。  
自分自身が体を使って動き、  
地域の皆さんとお話し、  
色々な活動するのが楽しい、  
とおっしゃっていました。



大学内テニスコートで行われた、ドローンのフライトトレーニングを見せていただきました。

小さくて見えませんが、このあたりにドローンがいます



「無人航空機操縦士」の資格保持者のメンバーさんもおられ、滑らかにドローンを操縦しておられました。また「左右のスティックを下に押し下げ、内側に寄せて始動」など、ドローンの操作方法を教えていただき、私も少しフライト体験をさせていただきました。



ゴーグルを装着した状態で操作する小型のドローン。

目で追わずとも、VRのごとく映像の世界に没入できる感覚があり、操作するのが面白かったです。



トレーニングの後は、倉橋市民センターと協働で制作され、同センターのロビーモニターで上映されている、島の歴史的な地域を紹介する動画も見せていただきました。

ここでひとつ、地域での清掃活動をご紹介します。

#### 周防大島での清掃活動

11月16日（土）、行政、同島観光協会、企業と連携し、周防大島の片添ヶ浜海岸で清掃活動を実施。鳥瞰図の皆さんのおかげで、いつもは取り切れないゴミまで収集できたと、地元の人から大いに喜ばれたそうです。

<https://x.com/MARISSARESORT/status/1857702775465062787>



また、江田島、倉橋島でも清掃活動を行う中で、海岸ごとに流れ着くゴミの量、質が違うことにも気づかれたとのこと。ドローンの空撮は、どのようなゴミが、どこでどう壊れ、どの海流にのり、どの海岸に流れ着くかを探るといった、マイプラ対策への活用としても期待できるのではないかとおっしゃっていました。



周防大島の空撮では、  
イルカも発見、  
撮影しておられました。



最後に、同団体が周防大島訪問の際、制作された短い動画をご紹介します。

[広島市立大学国際学部 | マリッサリゾート サザンセット周防大島](#)

この動画は、画像がぶれないようドローンを平行に飛ばしながら空撮したそうですが、見学の際、少しでもドローンを触らせていただいた私にも、ドローンの滑らかな平行移動が意外と難しいことは体感として分かり、見学当日の様子も含め、メンバーの皆さんのフライト技術向上への地道な積み重ねを感じました。また、砂浜に描いた絵を引きで撮る、といった発想は、日々、空撮を繰り返す、色々な映像作品を見る、といった中で、少しずつ浮かんでくるようになってきたものではないかと思ひ、引き続き、どんな動画を制作していかれるのか、楽しみに思いました。

地域と連携し活動する中では、お互いの求めるものが少しずつ異なったり、歩み寄る必要があったりと、色々なチャレンジもあるとのことでしたが、団体名「鳥瞰図」の通り、広い視野で全体を見渡し、どんな課題も力に変え、今後も地域と協働で、瀬戸の島々の賑わいを創出していかれることを期待しております。

この度は、素晴らしい活動を見学させていただき、ありがとうございました！（竹岡）